

JARA 発第 2025-321 号

2026 年 1 月 29 日

公益社団法人日本ローイング協会

強化委員会

コースタルローイング委員会

2026 年 U19 日本代表選手選考方針

2026 年 U19 日本代表選手は、以下に示す選考プロセスを経て決定します。

なお、今後の「World Rowing」 「Asian Rowing Federation」 ならびに「Summer Youth Olympic Games Dakar 2026」（以下 「YOG」）発表の要項等の内容によっては、今後、内容が追記又は変更される可能性があります。また、世界情勢の変動等当協会がコントロールできない事由が生じた場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがあります。

1. 選考方針

(1) 目標

（クラシック）

各種目とも、U19ローイング世界選手権においては参加クルーの50%以上の順位の獲得を、アジアローイングジュニア選手権においてはメダル獲得を目指します。

（コースタル）

World Rowing Beach Sprint Finals（以下 「WRBSF」）・YOGともKOCKOUTシリーズ進出（ベスト16以上）を目指します。

(2) 派遣対象レース・種目

（クラシック）

【U19 ローイング世界選手権】

重点強化種目：男女シングルスカル

派遣種目：男女クオドルブル

【アジアローイングジュニア選手権】

重点強化種目：男女シングルスカル

派遣種目：男女ダブルスカル、男女クオドルブル

（コースタル）

【WRBSF】

重点強化種目：男女ソロ

【YOG】

重点強化種目：男女ソロ

但し、男女ソロの補漕機能として男女混成ダブルスカルを派遣する。

(3) 参加資格

(クラシック)

U19 ローイング世界選手権およびアジアローイングジュニア選手権：2026 年 12 月 31 日時点で 19 歳未満である選手（2008 年 1 月 1 日以降に出生した選手）

(コースタル)

WRBSF および YOG : 2008 年 11 月 14 日以降に生まれた選手

(4) クルー編成

クルーの編成は、U19 ナショナルチーム選考レース（U19 Small Boat Selection、以下「U19 SBS」）における順位・%IDT が重要な判断要素となります。但し、その後の合宿においても、最速のクルーを作るためにクラシックではシングルスカル、ダブルスカル、クオドルブル、コースタルでは男女ソロ・男女混成ダブルスカルのいずれかのレースで評価を行い、再編する可能性があります。

(5) 評価

評価指標としては競漕条件（風、波、流れ等）を考慮した上で%IDT（Ideal Time）を使用し、各種目における目標を達成できるレベルにあると強化委員会が判断します。

(6) 派遣種目および日本代表選手の最終決定

派遣種目及び日本代表選手は、強化委員会の提言を受け、選考委員会の審査を経た上で、理事会が決定します。

2. U19 ローイング世界選手権日本代表選手選考

2.1. プロセス

2026 年 U19 ローイング世界選手権日本代表選手選考のステップは以下の流れとなります。

- (1) 2025 年 11 月又は 2026 年 2 月のいざれか一方の通信制 20 分エルゴの記録提出
- (2) 2026 年 5 月 U19 SBS

2.2. 20 分エルゴ（高体連ローイング専門部通信制エルゴ）記録提出

2025 年 9 月 5 日付 JARA2025-164 号「2025 年度高体連ローイング専門部通信制エルゴ大会要項」([https://www.jara.or.jp/kyoka/current/\(2025-164\)2025U19-20min.ErgoBulletin\(0905\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/(2025-164)2025U19-20min.ErgoBulletin(0905).pdf)) にて発表されている内容にしたがって、記録を提出してください。

2.3. 2025 年冬期 U19 強化合宿

- (1) 前出の「2025 年度高体連ローイング専門部通信制エルゴ大会要項」に記載の通り、選手を選考し、2025 年 12 月・2026 年 1 月・2 月に強化合宿を行う予定です。（2025 年 12 月、2026 年 1 月の強化合宿は実施済み）

また、合宿期間中のパフォーマンスを強化委員会が総合的に判断し、その後の合宿への招集の有無を決定します。

- (2) 高体連ローイング専門部通信制エルゴ大会の 11 月又は 2 月のデータが未提出であっても、U19 Tall Talent Program に則して有望と認めた選手であって、強化委員会が特に認めた者は、強化委員会の推薦により、合宿の参加を認める場合があります。

2.4. U19 SBS

(1) 日程・開催場所

日程：2026年5月8日（金）～10日（日）

場所：サンクジャパン戸田公園（※）

※2026年1月1日より名称変更

種目：男女シングルスカル

スケジュール：5月8日（金） AM Time Trial PM 予選・Final F以下の決定戦

5月9日（土） AM Semi-finals

5月10日（日） AM Final A,B,C,D,E

(2) 参加資格：2025年11月又は2026年2月の20分エルゴ（高体連ローリング専門部通信制エルゴ）のいずれか一方を提出した選手で、かつ、以下の①②の条件をいずれも満たす選手。

- ① 2025年11月又は2026年2月の20分エルゴの記録が「男子5400m以上」、「女子4800m以上」の選手。
- ② 2026年2月の20分エルゴの実施後、上記①の条件内でU19SBSへの予備申込を実施し、予備申込をした選手の中で、男女それぞれ20分エルゴデータの上位から「最大50人」を、U19SBS参加選手とします。

(3) レース形式

① タイムトライアル（以下「TT」）

1日目午前に2000m TTを1回実施し、その結果でランキングを作成します。全ての出漕クルーが②の本戦レースに進みます。

② 本戦レース

2000m TTのランキングにより振り分けられたグループにより、「予選/決勝F～J（1日目午後）」「準決勝A～D（2日目午前）」「決勝A～E（3日目午前）」の2000mレースを行います。

なお、上記①②のレース形式は変更する可能性もあります。「プログレッション」・「競漕日程」も含めての詳細は、2026年U19 Small Boat Selection要項にて改めて発表いたします。

(4) 選考方法

U19SBS本戦レースの順位によりU19ナショナルチームメンバーを決定します。選考人数は、それぞれのゴールタイムを%IDTに変換し、そのランキングを用いて決定します。

選考人数は、強化委員会が目標と照らし合わせ総合的に判断します。

2.5. 評価レースと最終決定

U19 SBS本戦レースの結果及びSBS後の強化合宿での評価を踏まえて種目の選定・クルー編成を行い、U19ローリング世界選手権日本代表候補選手・候補クルーを決定します。

その後、2026年5月からの合宿での評価レースを経て、U19ローリング世界選手権日本代表選手・クルーを決定します。

3. 2026 年アジアローイングジュニア選手権日本代表選手選考

アジアローイングジュニア選手権日本代表選手は、U19 SBS 本戦レースの結果から、「U19SBS 総合成績 1 位～7 位の男女それぞれ最大 7 名」を選考します。

※今後発表されるアジアローイングジュニア選手権の日程と、下記コースタル種目の 2 つの大会の日程によっては、「U19SBS 総合成績 1 位～7 位の 7 名」を以下の例①のように分ける場合もあります。

例①【アジアローイングジュニア選手権の日程により、コースタル日本代表がアジアローイングジュニア選手権に出場できない場合】

- (a) 男女それぞれ総合成績 1 位～7 位の内、「コースタル参加資格(前述 1.(3) 参加資格参照)を有する上位ランク 2 名」→「コースタル 2 つの大会の日本代表」
- (b) 男女それぞれ総合成績 1 位～7 位の内、「上記(a)以外の 5 名」
→ 「アジアローイングジュニア選手権日本代表」

例②【アジアローイングジュニア選手権の日程により、コースタル日本代表がアジアローイングジュニア選手権にも出場できる場合】

- (c) 男女それぞれ総合成績 1 位～7 位の内、「コースタル参加資格（同上）を有する上位ランク 2 名」
→ 「コースタル 2 つの大会の日本代表」
- (d) 男女それぞれ総合成績 1 位～7 位の 7 名→「アジアローイングジュニア選手権日本代表」

4. 2026 年コースタル種目 U19 日本代表選手選考

(1) 「コースタル種別への参加資格を有する選手の U19SBS 総合成績上位から 1 位・2 位の男女それぞれ 2 名（参加資格を適応）」を 2026 World Rowing Beach Sprint Finals : 10 月 18 日（日）～21 日（水）実施予定（中国・青島）日本代表選手として選考します。

(2) Summer Youth Olympic Games Dakar 2026 : 2026 年 10 月 31 日（土）- 11 月 14 日（土）実施予定（セネガル・ダカール）については、「コースタル種別への参加資格を有する選手の U19SBS 総合成績上位から男女それぞれ 2 名」を日本代表選手として選考する予定です。

なお、YOG への派遣参加種目・選手数は、大会要項確定後に改めて発表いたします。

(3) 上記(1)(2)の選考においては、状況により U19SBS 総合成績の該当ランクから下位にずらす場合があります。

(4) 2026 年 WRBSF・YOG までの強化合宿・遠征スケジュールは、追ってお知らせします。

なお、予算・助成状況により、大会・強化合宿・遠征等の内容・スケジュールを変更する場合があります。

5. その他

(1) 疾病や弔事等やむを得ない事由への対応について

U19 ナショナルチーム選考プロセスや、合宿で高いパフォーマンスを示したと強化委員会が認めた選手が、疾病、弔事等やむを得ない事由により U19SBS や評価レースに出漕できなかった場合には、強化委員会の判断により、次のステップに進めることができます。

（強化委員会の要請により、診断書等の当該事由を証明する書面の提出が必要となる場合があります。）

(1) 心電図検査結果の提出について

World Rowing の競漕規則に従い、U19SBS 参加選手は、心電図検査結果の提出が必要になります。なお、所定の期間以内（23 歳未満は 3 年以内、23 歳以上は 5 年以内）に心電図結果を提出したことのある選手はその提出が免除されます。

(2) IDT について

2026年シーズンのIdeal Time (IDT) は、2024年11月28日（木）発表の「2028 Ideal Times Table」となります。

→[https://www.jara.or.jp/kyoka/2024/IDT2028\(20241128\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/2024/IDT2028(20241128).pdf)

以上